

事務事業評価シート (評価対象年度：令和元年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名				雨水管渠管理事業				②事業番号		6313	
③事業類型		4. 施設等維持管理事業			④開始年度		昭和 62 年度	⑤終了予定年度		年度	☐ 設定なし
⑥根拠法令等		☐ 法令	☐ 条例	規則	要綱	計画等	その他	法令等の名称		下水道条例	
⑦実施手法		直営		全部委託		☐ 一部委託	☐ 補助・負担	その他			
⑧関連予算科目コード				款		1		項		1	
								目		2	
⑨担当部名				⑩担当課名				細目		4	
都市整備部				下水道課				会計		下水道事業特別会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1) 対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 雨水管渠施設	① 雨水管渠布設延長	km
②	②	
(2) 事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
以下の業務を委託している。 ・雨水管、マンホールの修繕 ・雨水管の清掃	① 修繕回数	回
	② 清掃回数	回
	③	
(3) 意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
施設の機能を保全し、良好な状態を保つ。	① 雨水管トラブル	件
	計算式	
	②	
	計算式	
(4) 結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
雨水幹線の取り込み口の維持管理と改善を適切におこなう。	政策(章)	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち
	施策大(節)	2 活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします
	施策中	4 下水道整備の推進
	施策小	1 下水道の整備

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標①	雨水管渠布設延長	km	54	54	54	54	54	—
対象指標②								
活動指標①	修繕回数	回	5	5	5	5	5	
活動指標②	清掃回数	回	2	2	1	2	2	
活動指標③								
成果指標①	雨水管トラブル	件	0	0	0	0	0	
成果指標②								事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.20	0.25	0.25	0.25		
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業費	千円	1,606	2,027	1,928	1,928		
	人件費(投入人員*単価)	千円	3,300	3,435	3,622	4,271		令和2年度より、『下水道事業特別会計』が『企業会計』へ移行。
財源内訳	直接事業費	千円	4,906	5,462	5,550	6,199		
	総事業費	千円						
	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
財源内訳	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	4,906	5,462	5,550	6,199		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	下水道事業を開始したことにより、雨水管の管理が必要になった。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	今後の老朽化に対処する必要がある。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価 **A**

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	雨水幹線の取り込み口の維持管理と改善を適切に行っている。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	下水道法により市が管理することとなっている。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	雨水管の整備範囲により、自ずと対象範囲が決まってくる。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	適切に雨水管を維持・管理しなければ、大雨時に洪水被害を引き起こす可能性がある。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価 **A**

⑤期待どりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	適切に維持・管理されている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	老朽化している雨水管の計画的な改修が必要である。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	他部署での類似はない。

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価 **A**

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	委託内容の見直しにより、コスト削減の努力をしていく。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	—

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	今後、老朽化が進んでいく雨水管施設について、維持・管理費用の増大が予測される。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

A	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止 (年まで) (年から) (年から)	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)
①改革、改善の具体案、実施年度など		—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		—